

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業点検・評価調書

4-I-2

4-I
-2

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の確認・整備
	節	I.アクセスマートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	2 アクセスマートの管理及び整備(国・県道)		事業主体	佐渡地域振興局地域整備部
	事業実施期間	H28~H34		関連団体
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○ 島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスマートの管理及び整備を行うことにより、来訪者の円滑な移動を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○ 世界遺産登録による来訪者増等に対応した、島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスマート(国・県道)の管理及び整備を行う。</p>			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <p>島内の国・県道は24路線で約430kmとなっている。</p> <p>●管理について 県管理道路のパトロールは、路線(区間)により平日の日中で、週1~5回実施しており、この他、夜間や休日のパトロールも行っている。 パトロールの視点としては、路面状況、安全施設や排水など附属施設の状況確認のほか、落石などに対応するため、法面の変状などにも気を配って実施している。</p> <p>●整備について H28年度は、6路線、19箇所においてバイパスや現道の拡幅工事を実施(県単独事業を除く)し、道路利用者の安全性と利便性の向上に努めている。 今年度の主な供用箇所として、国道350号国仲バイパスの中原で約0.7km、県道佐渡一周線の真更川で約0.3km、および岩谷口の跳坂トンネルの拡幅を行った。 また、外海府の大型車通行規制区間の解消を目指し、待避所整備に着手した。</p>			
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <p>■管理について 島内に点在する、道路防災点検実施の要対策箇所への対応が必要である。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■整備について 現在着手している工事箇所を少しでも早く完成するとともに、要対策箇所への予算確保に努める。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】 (a)・b・c]</p> <p>【事業実施の効果】 (a)・b・c]</p> <p>【総合評価】 (A)・B・C]</p> <p>◇県管理道路のパトロールは従前より確実に実施されており、今後も必要に応じて見直しを図りながら実施していく。 道路の整備は多くの予算と時間がかかるものであり、毎年供用できるわけではないが、着実に進捗させている。</p>			

- a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

- A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。